

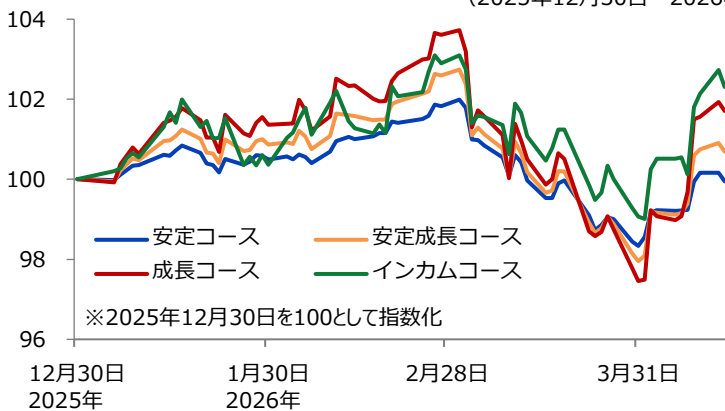
## 中東情勢の緊迫化を受けたファンドの運用状況

### 2026年初来の運用状況と投資環境

#### 中東情勢の緊迫化により3月は下落したものの、年初来では影響は限定的

- 当ファンドのパフォーマンスは2026年の年初から2月末までは概ね堅調に推移し、安定成長、成長、インカムコースにおいては基準価額（分配金再投資）が設定来最高値圏まで上昇しました。
- 2026年3月の金融市場は中東情勢の緊迫化により幅広い資産価格が下落し、当ファンドもマイナスとなりましたが、年初来では影響は限定的で概ね堅調となっています。

当ファンドの年初来のパフォーマンス  
(2025年12月30日～2026年4月14日)

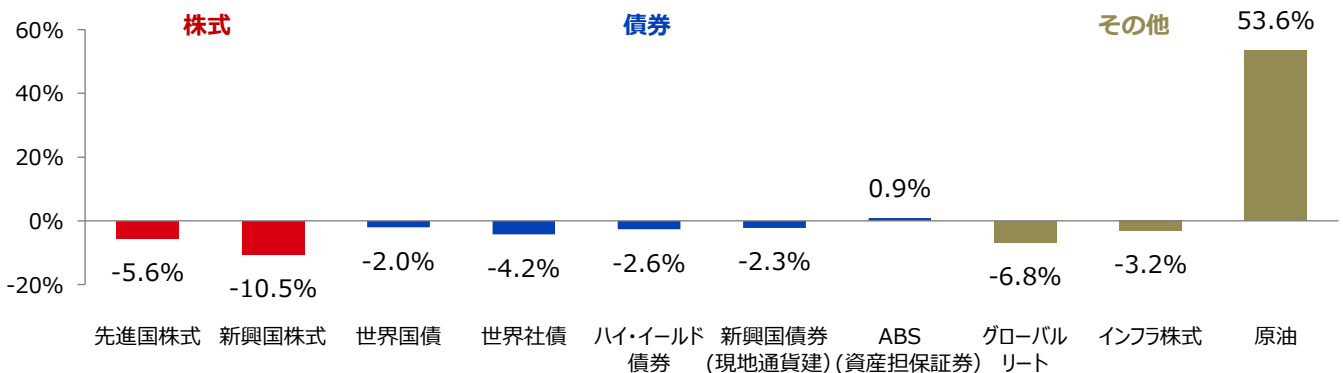


	2026年			
	1月	2月	3月	年初来
安定	0.5%	1.3%	-3.4%	-0.1%
安定成長	0.9%	1.7%	-4.5%	0.7%
成長	1.4%	2.2%	-5.9%	1.7%
インカム	0.4%	2.5%	-3.7%	2.3%

※年初来は4月14日現在

- 2026年3月は原油の供給不安を背景に、株式市場では日本や欧州、アジアの新興国など、原油の輸入依存度の高い地域・国の下落が目立ちました。
- 債券市場においては、エネルギー価格上昇によるインフレ再燃懸念が高まったことから世界的に金利が上昇（債券価格は下落）しました。

2026年3月の資産別の騰落率  
(2026年2月27日～3月31日、現地通貨建て\*)



\*世界社債、ハイ・イールド債券、インフラ株式、原油は米ドル建て

過去の実績は将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

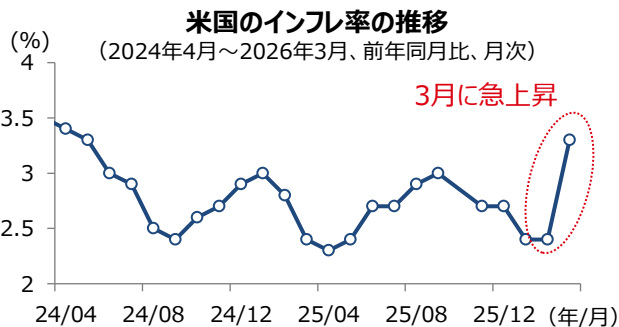
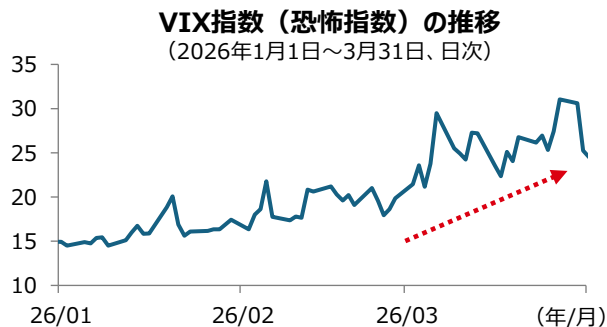
※ワールド・セレクションの基準価額は分配金再投資後の価額であり、信託報酬控除後の基準価額に税引前分配金を再投資したものと計算しています。  
 ※使用した指数（トータルリターン）：MSCIワールド・インデックス（先進国株式）、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（新興国株式）、FTSE世界国債インデックス（世界国債）、ブルームバーグ・グローバル総合社債指数（世界社債）、ブルームバーグ・グローバル・ハイ・イールド指数（ハイ・イールド債券）、JPモルガンGBI EMグローバル・ダイバーシファイド指数（新興国債券）、ブルームバーグ・グローバル総合証券化指数（ABS）、S&Pグローバルリート指数（グローバルリート）、DJブロックフィールドGLPインフラ指数（インフラ株式）、WTI原油価格（原油）

出所：LSEGのデータをもとに、HSBCアセットマネジメント株式会社が作成

# 足元の運用戦略

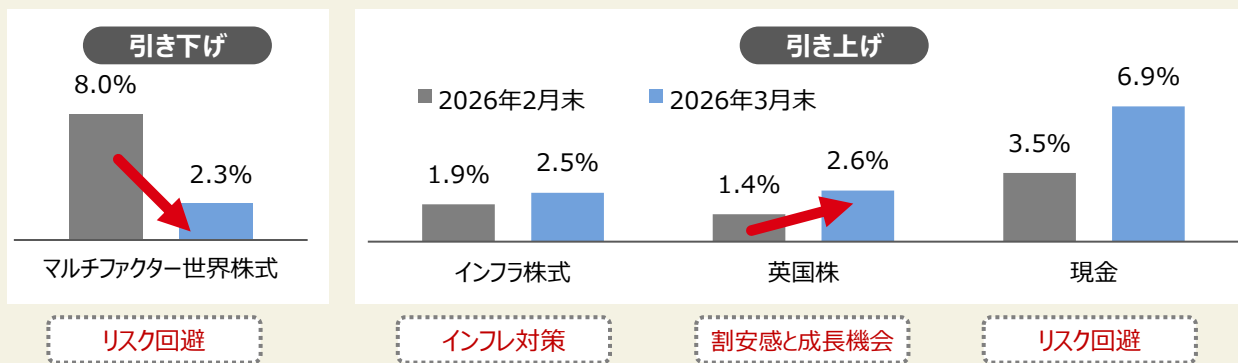
## ① 不確実性の再来：投資家心理の悪化とインフレ再燃

- 米国では、中東情勢の緊迫化を受けて市場の不安心理を示すVIX指数が大幅に上昇しました。
- またエネルギー価格の高騰により、米国のインフレ率は足元で急上昇しています。



## ② 株式：インフレ耐性と割安感（バリュエーション）重視

### 安定成長コースにおける配分変化



- 中東紛争の見通しが不透明な状況で、世界株式を中心に株式の比率を減らして**現金**の比率を高めました。
- 実物資産として、インフレ上昇と景気停滞の両局面にも耐性のある**インフラ株式**の比率を引き上げました。
- エネルギーなど資源関連銘柄の比重が高く、バリュエーションも魅力的な**英国株式**の比率を高めました。

## ③ 債券：インフレ耐性の強化

### 安定成長コースにおける配分変化



- 中東での紛争が長引いた場合の物価上昇への備えとして、物価連動債の比率を高めました。

## 今後の見通しと運用方針

- 中東紛争が続く中、市場のボラティリティは高く見通しは不透明です。
- 現時点では、先進国および新興国経済においてインフレ率は概ね抑制されています。しかしながら、中東紛争が継続すれば、エネルギー価格の上昇がインフレ率を押し上げ、経済成長の重荷となる可能性があります。これまでのところ成長は維持されていますが、経済は2022年当時よりも脆弱であり、新たなインフレショックが発生すれば、予想よりも早く経済活動が減速する可能性があります。
- 短期的な状況は厳しいものの、調停努力は継続されており、停戦に向けて市場の回復を支える可能性があります。
- 当ファンドは幅広い資産クラスにおいて、地域、業種など細かなポジションを慎重に構築しています。
- 引き続き、下振れリスクを抑制すると同時に、状況の変化に応じて投資機会を捉えることを目指して運用を行います。

## リスクと上手に付き合いながら長期保有をサポートするしくみ

昨今の不安定な世界情勢のもとでの資産運用には不安がつきものです。一方で今後、物価上昇の加速が見込まれる中で、資産運用により資産価値を守る重要性はさらに高まっています。当ファンドは不安定な市場環境でも価格変動を抑制するしくみで、長期投資をお手伝いします。

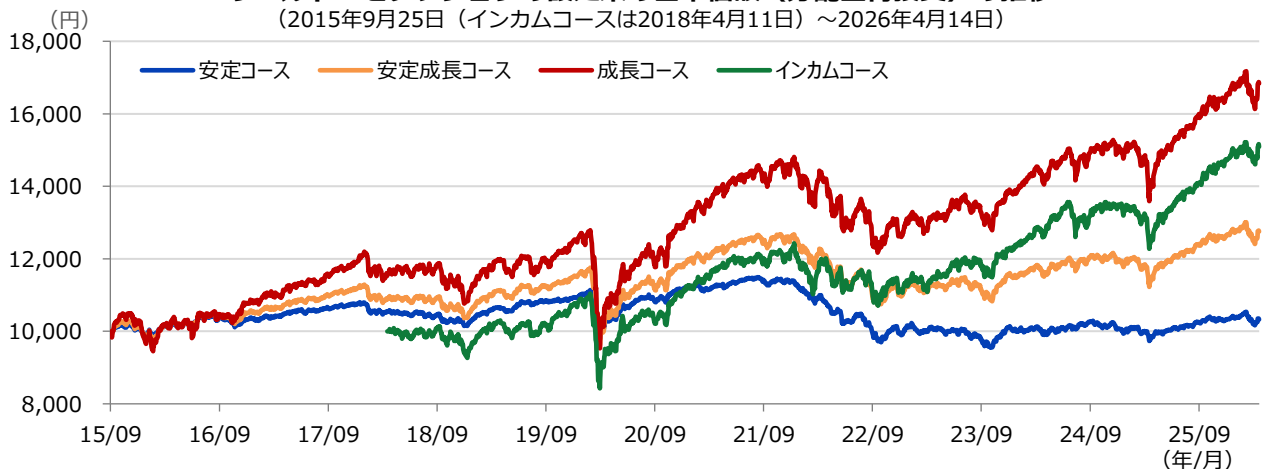
幅広い資産と地域に  
分散投資

為替ヘッジ\*で  
為替の影響を軽減

目標リスク水準で  
価格変動を管理

※為替ヘッジとは、為替変動リスクを回避することです。ただし、当ファンドは世界の様々な資産に分散投資を行っており、一部為替ヘッジを行わない部分があります。

ワールド・セレクションの設定来の基準価額（分配金再投資）の推移  
(2015年9月25日（インカムコースは2018年4月11日）～2026年4月14日)



	安定コース	安定成長コース	成長コース	インカムコース
目標リスク水準(年率)	5%程度	5~8%程度	8~11%程度	8~11%程度
過去5年のリスク*(年率)	5.1%	6.3%	8.5%	7.2%

リスク実績（価格変動のブレ幅）が目標リスク水準よりも低く抑えられています

過去の実績は将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

\*2026年3月末現在、月次

※ワールド・セレクションの基準価額は分配金再投資後の価額であり、信託報酬控除後の基準価額に税引前分配金を再投資したものと計算しています。

※各コースの実際のリスク値は、市場環境等により目標リスク水準から外れる可能性があります。

## 当ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。

当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「**株価変動リスク**」、「**金利変動リスク**」、「**信用リスク**」、「**為替変動リスク**」、「**流動性リスク**」、「**カントリーリスク**」、「**その他資産のリスク**」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はご自身でなさいますようお願い申し上げます。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

### [分配金に関する留意事項]

- 分配金は預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われるとその金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。
- その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

### [当資料で使用している指数について]

指数に関する知的財産権その他一切の権利は各指数の公表企業などに帰属します。また、指数公表企業などは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 当資料に関する留意事項

- 当資料はHSBCアセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料です。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。● 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務、情報の根拠となるデータなどについて公開する義務を一切負いません。
- 当ファンドは預金保険・貯金保険の対象ではありません。また、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。当ファンドの購入のお申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（クーリング・オフ）の適用はありません。● 当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。購入の申込みにあたっては、「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身で判断ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社： HSBCアセットマネジメント株式会社  
投資顧問会社（運用委託先）： HSBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッド  
受託会社： 三菱UFJ信託銀行株式会社

## HSBCアセットマネジメント株式会社

[照会先]



電話番号 03-3548-5690  
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)



ホームページ  
[www.assetmanagement.hsbc.co.jp](http://www.assetmanagement.hsbc.co.jp)



**お申込みメモ**（詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降に販売会社でお支払いします。
信託期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定コース、安定成長コース、成長コース：無期限（信託設定日：2015年9月25日）</li> <li>インカムコース：無期限（信託設定日：2018年4月11日）</li> </ul>
繰上償還	各ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、各ファンドの信託を終了させる場合があります。
決算日	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定コース、安定成長コース、成長コース：毎年8月19日（休業日の場合は翌営業日）</li> <li>インカムコース：年6回（毎年2月、4月、6月、8月、10月、12月の各19日。休業日の場合は翌営業日）</li> </ul>
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定コース、安定成長コース、成長コース：年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。</li> <li>インカムコース：年6回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。</li> </ul> <p>ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p>
課税関係	<p>課税上は、株式投資信託として取扱われます。</p> <p>公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。「安定コース」および「安定成長コース」はNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象であり、「成長コース」はNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」および「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。</p>
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、次のいずれかに該当する場合には、購入および換金の申込受付は行いません。ロンドン、ニューヨーク、ルクセンブルグの証券取引所または銀行の休業日、ルクセンブルグのイースター・マンデーの前週の月曜日、クリスマス（12月25日）から4営業日*前となる日 ※ロンドンの証券取引所または銀行の営業日を指します。

**ファンドの費用**（詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入時にご負担いただけます。購入金額に、 <b>1.65%（税抜1.50%）</b> を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	各ファンド（コース）とも、ファンドの日々の純資産総額に対して、 <b>年1.243%（税抜年1.13%）</b> 安定コース、安定成長コース、成長コース：毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 インカムコース：毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 実質的な負担： <b>年1.303%（税抜年1.19%）</b> 程度
その他費用・手数料	有価証券売買委託手数料、監査費用等を信託財産からご負担いただけます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。

ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

設定・運用は

**HSBCアセットマネジメント株式会社**

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第308号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会、日本証券業協会